

令和7年度 こども未来部 重点施策の実施結果

達成
状況

S … 目標を上回る結果となった
A … 目標通り達成した
B … 達成したが課題が残っている
C … 達成できなかった

総 括

・令和7年4月に開園した小笠北認定こども園の園庭整備工事を完了し、安全に多様な遊びを楽しめる環境が整いました。園児の主体性を育て体験を広げる場として活用していきます。

・小笠北認定こども園の職員が民間園を訪問し、療育を必要とする園児が集団生活に適応するための環境づくりや、「支援計画」作成のサポートを行いました。民間園と連携して、一人ひとりの発達や特性に応じた継続的な支援を実施します。

・不妊治療費助成制度の周知や相談会を行い、申請件数の増加につなげることができました。今後も広く制度が活用されるための環境づくりに努め、妊娠前からの切れ目のない支援に取り組んでまいります。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	小笠北認定こども園園庭整備工事 (こども政策課)	小笠北認定こども園の園舎完成及び開園に伴い、同敷地内の既存の小笠北幼稚園園舎の解体工事、園庭・駐車場の整備工事を実施します。	小笠北幼稚園園舎の解体工事、園庭・駐車場の整備工事を完了します。	A	老朽化した小笠北幼稚園園舎を解体し、園庭・駐車場整備工事を完了しました。 園庭整備工事に当たっては、園児たちの健やかな保育環境を整えるため、ガバメントクラウドファンディングを活用し、遊具の新設・移設を実施しました。
2	療育事業の充実 (こども政策課)	現在、実施している支援に加え、支援を必要とする園児が適切な支援により集団生活に適応できるよう、小笠北認定こども園の職員による民間園への訪問支援を実施します。	療育を必要とする園児の具体的な支援内容等を記載した「支援計画」の策定を支援するため、年間計画に基づき、市内民間園12園を訪問します。	A	市内民間園12園を訪問し、療育を必要とする園児と現状の支援体制について確認を行いました。そのうち6園に対して、個々の実態に合わせた「支援計画」を作成するための相談に応じる等、延べ67回の訪問支援を実施しました。 今後も療育を必要とする園児が、他の園児との生活を通して共に成長できるように、各園の実情を踏まえた訪問支援を継続していきます。
3	不妊治療費助成事業の強化 (子育て応援課)	不妊治療費助成事業を拡大し、経済的負担を軽減することで、早期からの不妊治療を可能とし、妊娠を望む家庭の支援を充実させます。また、不妊治療費助成事業の積極的な周知を行い、事業の促進を図ります。	不妊治療費助成制度について、医療機関や市民等に対し、10回以上の周知を行います。	S	不妊治療助成制度について、ホームページや広報菊川、医療機関への通知などにより19回周知を実施しました。助成事業を拡大したことで、令和7年度は申請件数は37件（旧制度9件を含む）となり、前年度の18件を上回りました。 今後も制度の周知に努めるとともに、希望者に対して事業説明会を個別に開催していきます。